

1 睦月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2 如月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3 弥生

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4 卯月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5 皐月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6 水無月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7 文月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 葉月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 長月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10 神無月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11 霜月

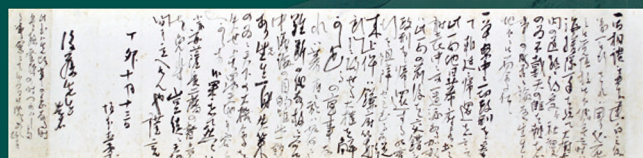
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12 師走

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

祝日法の改正により祝日や休日の一部変更になることがあります。

坂本龍馬



■坂本龍馬書簡 (真物)
 慶応3年(1867)10月13日
 後藤象二郎宛草案
 いよいよ大政奉還の可否を決める日。龍馬は二条城へ参上する機嫌に決死の覚悟で筆を執る。龍馬の筆跡が、この文書に現れている。これは「(後藤)先生」を「先生」と書き損じ、これを下書きとして手元に残した。このときの草稿と高まりが直に伝わる第一級資料である。
 (写真提供：高知県立坂本龍馬記念館)



■後藤象二郎
 天保9年(1838)～明治30年(1897)
 坂本龍馬とは慶応3(1867)年長崎で知り、時節を計じて大政奉還の機を逃さない考えで、その機を龍馬に託した。龍馬は後藤に土佐藩の密使として、大政奉還を盛り込むように促した。龍馬と船中八景を案とめ、大政奉還後日では容赦の許可もとりつけ、将軍慶喜への進言にも成功した。
 (写真提供：高知県立坂本龍馬記念館)



■大政奉還 (徳田丹波 画)
 京都 元祿宮二条城
 慶応3年(1867)6月頃から、薩摩藩と長州藩が武力討幕を考へ始める。土佐藩は武力討幕を避けたが、考えを、その機を龍馬に託した。龍馬は後藤に土佐藩の密使として、大政奉還を盛り込むように促した。龍馬と船中八景を案とめ、大政奉還後日では容赦の許可もとりつけ、将軍慶喜への進言にも成功した。
 (写真提供：高知県立坂本龍馬記念館)

(※坂本龍馬書簡、後藤象二郎、大政奉還 解説文：高知県立坂本龍馬記念館)